



「わっせ」は当協議会の愛称です。
人権ってなに？の「What」と人権の輪が「わっせ」
広がってほしい願いが込められています。

箕面市人権啓発推進協議会

ニュースレターVOL.15
2015年10月発行

〒562-0014 大阪府箕面市萱野1-19-4 箕面市萱野中央人権文化センター内
TEL/072-722-2470 FAX/072-734-6509
E-mail jinken-jimu-minoh@silk.ocn.ne.jp
http://wat-minoh.sakura.ne.jp/

「～人権・平和を見つめる機会に～」

箕面市人権啓発推進協議会会長 仲野 公

いっさいの差別を許さず人権尊重の明るい街を願
い、多くの市民や関係団体、行政等と共に進めて
まいりました「みのお市民人権フォーラム」は今年
で30回目を迎えることとなりましたが、これを契機
に人権啓発推進協議会が事務局を担うこととなり
ました。

今年のフォーラムはどのようにしようかと5月に実
行委員会を立ち上げ種々検討した結果、今年は
先の大戦が終結して70年、箕面市非核平和都市
宣言が出されて30年という節目の年でもあります
ので戦争と平和をコンセプトに置くこととし、全体
会の講演は戦争を体験し、こども絵本「せんそうし
ない」等、人権を視点に幅広く活躍されています詩
人の谷川俊太郎さんとピアニストとして日本アカデ
ミー賞優秀音楽賞受賞の谷川賢作さん親子の共
演をお願いすることといたしました。

また、30周年記念の取組として「人、家族、仕
事、平和」等これまで体験されたことを70文字以
内で表現していただく「ヒューマンメッセージいの
ちのことば大賞」を実施し、全体会で優秀作品の
表彰をすることといたしました。

一方残念なことに箕面市の公共施設で差別落
書きが発見されていますことから抗議の意味も兼
ねて障害者市民、在日外国人、市職員の立場か
ら韓国朝鮮の民族衣装チマチョゴリを着て司会を
していただくように考えています。

今年も年頭早々からイラクにおける日本人拉
致殺傷事件をはじめ飛行機の墜落や大型観光船
の沈没など世界的にも尊い人命を奪われる事案
が多く発生していますが人権フォーラムに参加し
て平和で安全安心が、いかに大切かを見つめる
機会になればと願っています。

みのお市民人権フォーラム30th

全体会

「人と人をつなぐ 詩と音楽の協奏」

音をつむぐ 言葉をつむぐ 想いをつなぐ

とき 2015年(平成27年)12月5日(土)

開場/PM1:00 開演/PM1:30

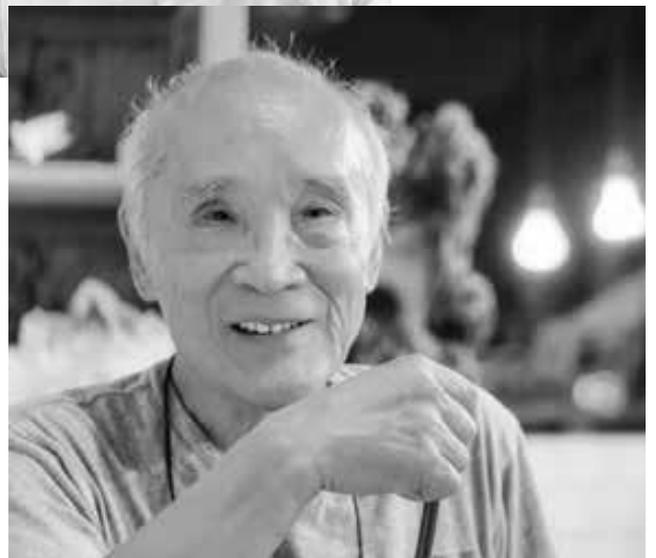
ところ グリーンホール(市民会館)大ホール

■全体会+分科会フリーパス 1,000円



谷川賢作さん
ピアニスト
作・編曲家

谷川俊太郎さん
詩人



話す、語る、伝える、分かち合う

●第1分科会【地方自治】

12月5日(土)PM5:00開場/5:30~7:00

グリーンホール 1階 大会議室

選挙権年齢の引き下げ
~政治への関心を高めるためには~

公職選挙法が改正され選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられたことにより、若者の政治的関心や投票率は向上するのでしょうか。参加者と



コーディネーター 箴島 専さん(大阪大学教授)
パネリスト 倉田哲郎さん(箕面市長)
新有権者をはじめとする若者

●第3分科会【女性】

12月6日(日)AM9:30開場/10:00~12:00

らいとぴあ 21 3階 視聴覚室

女性が起業するとき
~貧困から抜け出すパワーがここにある~

シングルマザーとともに女性の働く場を創ってこられた佐々木妙月さんの活動を通して、貧困から抜け出すパワーについて考えます。



講師 佐々木妙月さん
(株情報の輪サービス代表取締役)

●第2分科会【部落】

12月6日(日)AM9:30開場/10:00~12:30

箕面市立第二中学校

今、一番大人も受けたい部落問題の授業

「部落問題って何?」「今も差別はあるの?」と問われた時、あなたはどうか答えますか?
たくさんのヒントが詰まった分科会です。



講師・コーディネーター 武田 緑さん
(一般社団法人 コアプラス)
模擬授業講師 佐藤秀昭さん・大坪研介さん
(萱野小学校教諭)

●第4分科会【教育(子ども)】

12月6日(日)AM9:30開場/10:00~12:00

らいとぴあ 21 3階 ホール

求められるのはリアルなコミュニケーション力
~スマホ時代の子どものトラブルと対策~

急速に普及したスマートフォン、LINEなどでネットトラブルが広がっています。子ども達が巻き込まれる思わぬトラブルへの対応をわかりやすくお話します。



講師 石川千明さん
(NPO 法人奈良地域の学び推進機構理事)

●第5分科会【障害者】

12月6日(日)PM1:00 開場/1:30~3:40

市民活動センター 多目的室

障害の有無によって分け隔てられることのない街、箕面へ
～明石市の障害者差別解消条例に学ぶ～

「障害者差別解消法」が2016年4月1日より施行されます。障害の有無により分け隔てられた結果、個々の障害者が直面している問題について考えます。



講師 金 政玉さん
(明石市障害者施策担当課長)
聞き手 大道広子さん(市在住障害者市民)
進行役 新井 良さん(豊能障害者労働センター)

●第6分科会【在日外国人】

12月6日(日)PM1:30 開場/2:00~4:00

箕面市立多文化交流センター1階 comcafe

「ヘイトスピーチ」って何？

～ドキュメンタリー映画「ヘイトスピーチ」を観て考える～

ヘイトデモの参加者とそれに対抗するカウンターの人々への取材を通してヘイトスピーチの現状を描きだした大学卒業制作。ぜひご覧ください！



講師 佐々木航弥さん(映画監督)

詳細は、みのお市民人権フォーラム 30th
パンフレットをご覧ください。

カラムコラム

かじじいの連載人権バナシその1

かわのひでただ

●箕面市人権啓発推進協議会事務局から、「河野さんも、副会長なんだから、何か連載で書いてくださいな」と急かされて、しぶしぶ「ほんなら、脳の中をかき回して、精々囲み文章か、埋め草記事もどきのようなもので良ければ。」と引き受けた初回です。

●日常の会話の中で、よく耳にする言葉は、「人権は漢字の堅いイメージがあって難しそう」というものです。

果たしてそうでしょうか？人権という概念は、人としてこの世に生を受けたひとには、漏れなく与えられる生きる権利のことです。この権利は、社会のあらゆる決まりごとにも優先する権利です。そして、その発動は、「自由」によって可能なのです。では、その自由は、どこからやってくるのか？自由とは、「自ら」に「由って」現れることです。つまり、ひとり一人が、発動のエネルギー源なのです。だから、ひととして、誰もが関係を持ち、ひととして他者の自由や、権利を犯してはならない約束事なのです。

●とかなんとか言っちゃって、このようなこんにやく問答を続ける連載ですが、その中に1片の明かりが見えて、読者のみなさんが自分のこととして、受け入れていただければ、これに過ぎる喜びはありません。

では、次号に続けますね。
以上



吾亦紅

東日本大震災を記憶し、語り続けるために

2013年度から連続して実施してきた「東日本大震災義援活動2015」は、今回18名の参加者の皆様とともに、10月24日(土)～26日(火)、福島県南相馬市から宮城県南三陸町、気仙沼市、岩手県陸前高田市を訪問します。震災から4年7カ月、復興に向かう現地で地元の方々と交流を図ります。

研修と連帯のツアー

同和問題啓発研究部会長 太田 克己

同和部会は、今や「風前の灯」となっている大阪人権博物館や解放運動の聖地である芦原橋周辺の見学と「ゆめ風基金 20 年記念」コンサート参加を組み合わせた研修と連帯のツアーを企画しました。

その日は、8 月 16 日。残暑厳しき折ながら、幸いにも曇天で微風があり、いつもより涼しく感じられました。

芦原橋の駅を降りると、直ぐに昔しばしば研修に通ったあの解放会館がないことに気付きます。巨大な病院跡の廃墟も目をひきつけます。また、付近には空き地もたくさんあり、高層の改良住宅がたくさんありますが、人影はほとんどなくひっそりとしています。

大阪人権博物館は、あいにく休館日でした。経営難から、今では週 4 日の営業になっているようです。同館の前は緑地になっていて、沖縄のエイサー、韓国のサムルノリ、そして和太鼓の演奏風景がブロンズ像として設置されています。私たちは休憩を兼ねてそれらを鑑賞していましたが、話は自然と解放運動の聖地が「どうしてこんなにも変わってしまったのか」という方向へ進んでいました。

しばらく付近を歩きましたが、三線の音に惹かれて裏道へそれると、駐車場を借り切って大がかりな手作り品のバザールが開かれていましたので、ここでも小休止をしました。参加者の一人によると、行程の半分も来てないのに、既に 1 万歩を歩いたとか。

次は、中之島公会堂で催される「ゆめ風基金 20 年記念」コンサートです。このゆめ風基金は、既に 7 億円を集め、内 3 億円を震災等の被災障害者支援のために使ったそうです。「不平等を恐れず、必要な所に、必要な額を、早く」届けることがモットーだそうです。会場スタッフの顔ぶれを見ると、多くは箕面の人たちで、全国展開しているゆめ風基金の中軸を箕面の人たちが担っているのだということを実感しました。太鼓演奏を始めとして、コンサートの中身も大変良かったです。

コンサートの後は、通天閣の下まで移動し、2 度浸け禁止の串カツを食べました。本当は、昼間に地下鉄線の南側を見学したかったのですが、今回は時間の都合で出来ませんでした。

『精神』 Are you sane?

在日外国人問題啓発研究部会 瀧山 徹

岡山のある精神科医院の日常の診療風景のドキュメンタリー映画。

患者と医師の日常の会話が淡々と続く。驚いたことに患者も医師もすべて素顔のまま。もちろん、承諾のうえのことだが、すごい。

出演者たちが自分の歴史や今の心境を語り始める。ある人はその医院で、またある人は自宅で。皆、それぞれ固有の名前と言葉を持ち、悲喜こもごもの人生があり、たまたま心の病を患い、その病とともに生きている。

この監督は私たちをどこに連れていこうとしているのか？何を伝えようとしているのか？期待と不安が入れ替わり立ち替わり心を駆け巡る。

見終えて心地よい疲労感があった。ふと、画面をみると何ともう一作ある。映画上映後の出演者との座談会である。これも圧巻。

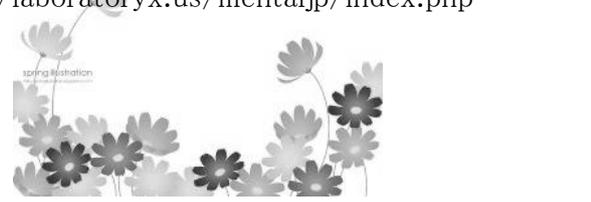
ふと気づくと三時間以上もたっていた。

個人的な感想として、問いはだされたが、答えはない。あるとすれば、心の病をもつ人たちがその病を含めた一人の個人として地域社会で暮らしているというその関係性の中にこそあるのだろう。

まさにボブ・ディランが「Blowing in the wind」で歌ったように。(2008年。想田和弘監督)

映画「精神」の公式サイト

<http://laboratoryx.us/mentaljp/index.php>



編集後記

- ・今年度より人権協が人権フォーラムの事務局を担当することになりました。スタッフも増えてこれまで以上に熱が入る事務局です。
- ・報告が遅れましたが、6 月より百合貴美子さん(会計担当)、9 月より瀧山徹さん(人権フォーラム担当)が加わり、現在、前田功事務局長、森の 4 名が交替制で人権協事務局を担っています。お気軽にお立ち寄りください。(M)